

年頭のごあいさつ

大阪府中小企業団体中央会

会長 岡本 檣 雄



新年明けましておめでとうございます。

平成24年の新春を迎えるにあたり、中小企業関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は東日本大震災とそれに伴う原発事故、台風12号による災害等々、自然災害に見舞われた大変な年でした。

わが国経済は、震災による経済基盤を大きく揺るがされ、サプライチェーンの復興後は、やや回復基調にありましたが、昨年後半からの歴史的な円高や、原発事故による節電要請、タイの洪水被害、ギリシャに端を発した欧州の財政危機等により厳しい経済環境が回復しないまま、新年を迎えることとなりました。

中小企業は、大企業に比べて情報、技術、人材などの経営資源が不足しているため、その経営資源を相互に補完し、事業を共同化し、経営革新・効率化等を図ることによって、競争力を強化していくことが重要であり、ここに組合存立の意義があります。

特に、このような厳しい経営環境のもとでは、中小企業が連携した事業活動即ち組合の活性化を図り、技術開発、新商品・新サービスの開発、販売の促進等への取組みを進めることが極めて重要となっております。

中央会も補助金が全廃されるなど極めて厳しい状況ではありますが、大阪経済を支える府内中小企業が事業を継続し、雇用の維持に努めていくために、組合等の支援をより一層充実させ、従来の中小企業組合だけでなく、中小企業連携組織の専門支援機関として多角的連携組織の組織化支援も行って参ります。

皆様方におかれましては、極めて厳しい情勢下にありますますが、新年にあたり、決意を新たにされ、我が国経済社会の発展と中小企業の振興のために、ご精進いただくことをご期待申し上げます。

結びにあたりまして、この新年が皆様方にとりまして大きな飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。